



第 4 4 回全国大会開催報告

全国大会委員会 委員長 小尻智子（関西大学）

2019 年の教育システム情報学会の全国大会を、9 月 11 日(水)から 13 日(金)の期間、静岡大学浜松キャンパスで開催しました。405 名という非常に多くの方にご参加いただきました。学会を盛り上げ、ホスピタリティあふれる会場運営をしていただきました現地の実行委員会の方々に心より感謝申し上げます。また各委員会のご支援により、プレカンファレンスや企画セッション、各種奨励も滞りなく進めることができました。ご参加の皆様方も、大会初日から最終日まで積極的にご参加頂きました。素晴らしい大会となりましたこと、全ての皆様に心より御礼申し上げます。

昨年度の大会では、台風と地震という 2 つの自然災害を経験しました。被災を経験した学会として、災害のような困難が生じたときに教育や情報技術がどのように貢献できるかを議論したいという思いから、本大会では「知の共有支援技術で支えるレジリエントな学び」というテーマを掲げました。2 日目のメインイベントでは、震災を経験された先生方の事例を振り返りながら、自然災害に対する備えや、自然災害を乗り越えるための情報技術について議論しました。最終日の公開シンポジウムでは、静岡大学を含む 5 大学で実施している組み込み技術者育成プログラム EnpitPro-Emb の活動報告を基に、柔軟な判断ができ、実践力を備えた高度な IT 人材の育成の在り方や課題、展望を共有しました。このうち 2 日目のメインイベントは社会的な注目も高く、議論の様子は 9 月 13 日の中日新聞と静岡新聞の朝刊に掲載されました。

大会初日の開会式では、静岡大学情報学部長の近藤真先生に挨拶を頂戴しました。その後、新会長になられた柏原昭博先生に、「学習支援システム研究の核心と拡がり」というタイトルで基調講演をいただき、学習モデルを基軸とした教育システム情報学の在り方について話題提供を頂きました。その後に開催された企業セッションでは 15 の企業にプレゼンテーションをしていただきました。

研究発表は、11 のテーマからなる企画セッションに 73 件、学生研究特別セッションに 7 件、口頭発表に 90 件、インタラクティブ発表に 58 件のご投稿をいただきました。初日のプレカンファレンスにも 7 テーマのご応募をいただき、3 日間にわたって活発な議論がなされました。

2 日目の夜に静岡大学の生協で開催された懇親会には 192 名の方が参加し、浜松餃子や静岡おでんなどの浜松のグルメを楽しみながら交流を深めました。懇親会の途中には、学生セッションの学生さんの紹介や功労賞・功績賞を受賞された先生方のスピーチ、静岡大学前学長の伊東幸宏先生の挨拶などがあり、内容の濃い楽しい会となりました。

さて、来年の全国大会は、広島工業大学五日市キャンパス（実行委員長 松本慎平先生）で開催いたします。五日市は広電宮島線で広島から宮島へ行く途中に位置し、広島だけではなく、宮島へのアクセスも良好です。お好み焼きやカキ、穴子に舌鼓をうちながら、熱い議論の続きをしていただけますように、関係者一同準備に努めたいと思っております。再び皆様方にお会いできますことを楽しみにしております。



第 44 回全国大会奨励賞審査結果

第 44 回全国大会奨励賞最終審査会

大会奨励賞は、教育システム情報学および関連分野における学問の発展を奨励するため、その貢献が顕著である新進の研究者に贈呈するものです。受賞時に本学会の会員(入会申請中を含む)であって、40歳を越えていない、または、本学会入会時から10年を経過していない方が対象となります。また発表論文の第一著者であり発表時において登壇者であること、直近の過去2回の大会でこの賞を受賞していないことも条件となります。

大会奨励賞審査委員会により論文審査・発表審査を行い、本大会の審査対象論文 79 件(口頭発表の部：55 件、インタラクティブ発表の部：24 件)から、以下の論文の各第一著者を大会奨励賞に選定いたしました。

(以下は講演番号、発表題目、著者(○は受賞者)、所属の順)

<口頭発表の部>

I1-4 行動の規定因を他者の視点から考える情報モラル教育：大学初年次生を対象とした実践

○田中孝治(1)、堀雅洋(2)【(1)金沢工業大学、(2)関西大学】

E5-1 テキストカバー率の確率的拡張に基づく語彙テストのみからの個人化読解判定

○江原遥【静岡理工科大学】

A5-2 Scrapboxを用いたアクティブラーニング型授業における学習プロセスの可視化と共有

○近藤伸彦【首都大学東京】

<インタラクティブ発表の部>

P2-02 慣性計測装置を用いた作業者の姿勢判別手法の検討とスキル学習支援の応用

○畠中啓輔、松原行宏、岡本勝、岩根典之、宗澤良臣【広島市立大学大学院】

以上 4 件



学生研究発表会優秀発表者の全国大会優待企画と 特典利用者の参加報告

人材育成委員会

本学会は若手研究者の育成に力を入れており、学生研究発表会の開催の他に、全国大会において各地区から代表者を1名選定した「学生特別セッション」と、学生研究発表会優秀発表者を対象とした「全国大会優待」を企画しております。この「全国大会優待」は、学生研究発表会優秀発表者全員に対し、全国大会での発表ならびに参加報告の提出を条件として、

- ・全国大会参加費等の全額免除（旅費・宿泊費除く）

を特典とするものです。今年度は、全国の学生研究発表会で、優秀発表賞/優秀ポスター賞として計30名が選ばれ、各地区から代表者として選ばれた7名を除く23名の該当者のうち、5名が特典を利用しました。以下に、全国大会に参加・発表した特典利用学生5名の参加報告を掲載します。

全国大会という大きな舞台での発表の機会を頂きましてありがとうございました。自身の研究と向き合うことで、考察をより深め入念な発表準備ができました。そして、発表を通して、他の先生方のご意見を頂くことで新たな発見もあり、非常に貴重な経験をする事ができたと実感しています。また、他の学生の方々の素晴らしい研究発表を目にすることで、刺激をもらい私自身も負けてられないと、研究に対する熱意をさらに燃やすことができました。今後も研究活動に力を注ぎ、これからの教育に貢献できるよう尽力する所存です。

(京都教育大学大学院 修士2年 木下 卓海)

この度は貴重な機会をいただき、誠にありがとうございました。全国大会という多くの研究者の方々が集まる場で発表することで、地区大会よりさらに幅広い視点からの知識やご意見を得ることが出来ました。自身の研究の強みと弱みがより明確になったので、今後の研究方針がはっきりしたと思います。また、異なる研究分野の方の発表を聞くことで、教育システムの更なる可能性を感じることが出来ました。本大会で学んだことを、これからの私の研究に活かしていけるよう精進していきたいと思っています。

(広島大学大学院 修士1年 元川 凱喜)

全国大会への参加という貴重な機会をいただき、ありがとうございました。今回の JSiSE 全国大会で発表することにより、特に2つの大きなものを得ることができました。一つは、全国大会にお越しいただいた皆様からの、地方大会とはアプローチの異なるご意見です。もう一つは、お越しいただいた方に、自身の研究の価値を理解していただけたことの達成感です。また、同世代の参加者とそれぞれの考え方や知見を深める良い親睦の機会も作ることもできました。得られたこれらの経験を、今後の研究の発展につなげていきたいと考えております。

(広島大学大学院 修士1年 中野 謙)

この度は、優待特典により全国大会に参加させていただき、ありがとうございました。本大会では自分の発表に対する貴重なご意見・ご指摘を頂けてよかったと考えています。今後の自分の研究について不十分な点や、今後洗練すべき点をしっかり確認することができました。また懇親会では、様々な先生とコミュニケーションを取ることで、自分の研究分野以外の話を聞かせていただくことで新たな刺激になったと考えています。本大会でご指摘頂いた事や伺った話などを生かして、今後の研究に取り組んでまいりたいと思います。

(広島市立大学大学院 修士1年 梶岡 瑞貴)

この度は優待特典の利用により第44回教育システム情報学会全国大会に参加させていただきました。今大会ではインタラクティブセッションによる発表をさせていただきました。皆さまからの質疑を通して、研究に対する検討や幅広い知識を吸収できたと感じています。また、発表の流れや伝えたい事柄を強調するための見せ方を会得する絶好の機会であったと思います。今回ご指摘いただいたこと、学んだことを生かして、今後も研究に取り組んでまいります。指導教員をはじめ、今大会でお世話になった方々に厚く御礼を申し上げます。

(公立千歳科学技術大学大学院 修士1年 阿部 晃大)



柏原昭博会長と学生特別セッションおよび本企画利用の優秀発表者（懇親会での集合写真）

人材育成委員会では、今後も若手育成を活性化させる企画を検討していきます。



2019 年度 第 4 回研究会 開催案内

小尻智子（関西大学）、柏原昭博（電気通信大学）、曾我真人（和歌山大学）
長谷川忍（北陸先端科学技術大学院大学）、松浦健二（徳島大学）

■テーマ：スキル支援ためのシステムティックな環境デザイン／一般

■開催日時：2019 年 11 月 9 日（土）

■会場：関西大学千里山キャンパス

■趣旨：本年度第 4 回研究会は昨年度に引き続き「スキル支援ためのシステムティックな環境デザイン／一般」のテーマで実施いたします。様々なスキル学習支援、同獲得・開発支援に関する研究がなされています。スキルとは、身体性と知性といった二元論的発想は既に支配的考え方ではなくなり、またその対象には、数学、語学といった分野から、音楽、芸術、スポーツ、医療、プログラミングなどあらゆる学習可能な分野に広がって捉えられています。その支援研究のアプローチの中心には、人間の暗黙知、経験値を形式知化して、伝達・表現することの重要性があり、これまでも多数の研究者が主張しているところです。ただし、身体知の個別性がもたらす支援や理解の困難さは、対象領域ごとの問題として明確に意識した適応的研究アプローチが必要であり、システムのモニタリング、分析、動的な支援エンジンなどが一般に必要です。

昨年度は、支援手法、構造記述方法、評価手法、またそれらを支える支援技術に関して多くの報告があり、活発な議論を行うことができました。本年度も引き続き、学習モデル、学習分析、技術開発、実践・運用、評価など多様な観点について議論するとともに、スキル学習を支援するためのシステムティックな支援環境の在り方について広く議論できればと思います。また、このようなテーマに沿った内容に限らず、本学会の取り扱う領域における一般の研究発表も受け付けておりますので、多くの皆様からのご参加をお待ちしております。

■発表時間：25 分(発表 18 分、質疑 7 分)を予定しております。

■発表者の方へ：執筆要領、投稿方法、原稿なし発表の方法などは、以下のページでご確認ください。

http://www.jsise.org/society/committee/2019/CFP_4th.html

■参加費等：研究会への参加は無料です。研究報告（講演論文集）は、1,000 円で当日購入できます。研究報告は電子化されており、インターネット経由でダウンロードするか、受付に準備する USB メモリからコピーしていただきます。詳しくは以下のページをご覧ください。

http://www.jsise.org/utility/information/howto_jrr.html

お問い合わせ先：関西大学 小尻智子（E-mail：kojiri@kansai-u.ac.jp）



2019 年度 第 5 回研究会 講演募集

三石大（東北大学），光原弘幸（徳島大学），高木正則（岩手県立大学），
鷹野孝典（神奈川工科大学），佐々木整（拓殖大学）

下記の通り，教育システム情報学会（JSiSE）2019 年度第 5 回研究会を開催いたします．日頃の研究内容をご講演頂き，議論を深める場として頂けるよう，是非，みなさまご参加ください．

■ テーマ： 新技術と教育情報を活用した教育学習環境の設計／一般

■ 開催日時： 2020 年 1 月 12 日（日）

■ 会場： 山口大学吉田キャンパス

山口市吉田 1677-1

<http://www.yamaguchi-u.ac.jp/>

■ 主旨：

新しい技術の登場は，次世代教育・学習環境の設計・開発・実践について新しい発想を与えてくれるとともに，その実現に欠かせないものとなっています．スマートデバイスやクラウドコンピューティング，IoT，ディープラーニング，ロボット，VR・AR 技術など，多様な新技術の利用に基づく教育・学習環境の構築や授業設計がますます重要になっていくことでしょう．

本研究会では，このような新しい技術と教育情報を活用した次世代教育・学習環境について，そのための教授設計も含め，システム・基礎技術の開発，実践，ならびに，新しい教育・学習手法に関する幅広い研究発表を募集し，共に考える議論の場としたいと思います．

■ 主な対象：

- スマートデバイスと Web 環境の連携等の新しい学習形態と手法に関する設計・研究・開発
- VR・AR 技術やセンサー装置を活用した体験・参加型の学習支援システムの設計・研究・開発
- IoT やディープラーニングによる新しい教育・学習環境のデザイン，活用に関する研究
- Web やセンサーネットワーク，アドホックネットワーク等を活用した新しいネットワーク活用・教育手法に関する設計・研究・開発
- ネットワークコンピューティングを活用した新しいデバイス技術に関する設計・研究・開発
- 新しい教育・学習環境と学習効果・教育効果に関する研究
- スマートデバイスを活用した協調学習，アクティブラーニングに関する研究
- その他教育システム/e ラーニング一般

■ 発表申込締切：2019 年 11 月 26 日（火）

■ 発表原稿提出締切：2019 年 12 月 11 日(水)

■ 発表申込および原稿提出

下記 URL の当学会ウェブサイトより研究会開催のご案内にアクセスし、お手続きください。

<http://www.jsise.org/>

注) 研究会予稿集電子化に伴い、「執筆要項」や「講演申込・原稿の投稿方法」を変更致しました。以下のページをご確認ください。

- ・ 研究会執筆要領：

<http://www.jsise.org/society/pdf/format.pdf>

- ・ 研究会報告見本：

<http://www.jsise.org/society/pdf/sample.pdf>

- ・ 研究会報告ひな形：

<http://www.jsise.org/society/doc/sample.docx>

- ・ オンライン講演申込・原稿投稿方法：

<http://www.jsise.org/society/committee/pdf/manual.pdf>

発表時間は 25 分（発表 18 分，質疑 7 分）を予定しております。発表件数によって発表時間が変更されることがあります。

■ 懇親会：研究会終了後，懇親会を開催する予定です。会費は 4,000 円程度を予定しています。

■ お問い合わせ先：

第 5 回研究会担当委員（代表：東北大学 三石 大）

E-mail：jsise-sig-5th@googlegroups.com（「@」の部分は，半角の「@」に変えて下さい）



ラーニングイノベーショングランプリ 2019 最終審査選出決定

産学連携委員会 委員長 松浦健二

JSiSE が共催する産学連携イベントであるラーニングイノベーショングランプリ 2019 の最終審査選出チームが決まりました。10 月 9 日（水）に最終審査会及び表彰式が行われます。最終審査プレゼンテーションは、どなたでも聴講できますので、ぜひ、ご参加ください。

【最終審査選出チーム】

- 答えのない Web 空間で調べ学習の評価を。
電気通信大学： 柏原研究室 Web 調べ学習チーム
- 確信度フィードバックシステム：coala
大阪府立大学： OPUDFKI
- 先生よりも分かりやすく教えてくれる講義ロボット
電気通信大学： 柏原研究室講義ロボットチーム
- ロボットによる安心感をもって学習できる「良い雰囲気」の提供
早稲田大学： 松居研究室
- スマホで見る HMD 式非同期型 VR 授業システムの開発
東京理科大学： 赤倉研究室

最終審査は、各チームの代表者が日経 xTECH EXP02019 の会場でプレゼンテーションを行います。プレゼンテーション終了後、各審査委員は特に優れた 1 チームを推薦理由とともに投票し、順位を決めます。最優秀ラーニングイノベーション賞、優秀ラーニングイノベーション賞受賞は、当日夜に開催するパーティ（会費制）「ラーニングイノベーションミーティング 2019」で表彰します。

【公式サイト】

<http://ligp.gingerapp.co.jp/>

主催：マイクロラーニングコンソシアム（mLC）

共催：教育システム情報学会（JSiSE）、日本イーラーニングコンソシアム（eLC）

協賛（申請中）：学習分析学会、人工知能学会、電子情報通信学会教育工学研究会、日本 e-Learning 学会、日本教育工学会、日本情報科教育学会

協力：日経 BP 社、ジンジャーアップ（公式サイト）

運営：ラーニングイノベーショングランプリ実行委員会

プラチナスポンサー：ジンジャーアップ

ゴールドスポンサー：アステリア、サイコム・ブレインズ、創新ラボ、デジタル・ナレッジ、ユーム



学生研究発表会発表募集（第1報）

人材育成委員会

今年度も学生研究発表会を下記の通り開催する予定です。詳細未定の地区もありますが、スケジュールの最新情報ならびに申込み方法は、学会ウェブページにて更新していきます。皆様の積極的な参加・発表をお待ちしております。全国大会との連携企画も検討しております（特典内容は未定です）。

申込み期限は1月下旬、発表原稿提出は2月中旬を予定しております。

開催地区 開催都市	開催場所・開催日 実行委員長（連絡先）
北海道 千歳市内（予定）	開催予定（詳細未定）
北信越 長岡市	アオーレ長岡（長岡駅前）・2020年3月10日（火） 香山 瑞恵（信州大学）・hse-submit@jsise.org
関東 栃木県（予定）	開催場所（未定）・2020年3月2,3日（合宿形式） 山本 樹（明海大学）・tatsuki@meikai.ac.jp
東海 未定	開催予定（詳細未定） 長谷川 信（岐阜聖徳学園大学）・m.hasegawa@gifu.shotoku.ac.jp
関西 大阪市	関西学院大学大阪梅田キャンパス・2020年2月27日（木） 河野 稔（兵庫大学）・kawano@hyogo-dai.ac.jp
中国 広島市	広島工業大学五日市キャンパス・2020年2月29日（土）（仮） 松本 慎平（広島工業大学）・s.matsumoto.gk@cc.it-hiroshima.ac.jp
四国 香川県三豊市	香川高等専門学校 詫間キャンパス・2020年3月8日（日） 米谷 雄介（香川大学）・kometani@eng.kagawa-u.ac.jp ※香川高等専門学校との共催
九州 鹿児島市	鹿児島大学・2020年3月7日（土） 石塚 丈晴（福岡工業大学短期大学部）・ishizuka@fit.ac.jp
沖縄 宜野湾市	沖縄国際大学・2020年2月20日（木） 小渡 悟（沖縄国際大学）・sodo@okiu.ac.jp

発表方法：口頭発表またはポスター発表（ポスターは会場によっては募集しておりません）。

留学生の方の発表（英語・日本語）の発表も歓迎します。

発表資格：大学生（短大生、高専4・5年生・専攻科を含む）、大学院生（修士・博士課程在籍者）。

社会人学生も参加可能です。

※いずれもJSiSE正会員である推薦人（指導教員または関係者）の推薦が必要です。

発表場所（地区）：自分の所属する大学等の場所と一致していなくてもOKです。



2020 年度 特集号論文募集

学会誌編集委員会委員長 瀬田和久（大阪府立大学）

「SDGs (Sustainable Development Goals) に貢献する教育システム」

論文投稿締切：2020 年 6 月初旬（予定）

2021 年 4 月 1 日 発行（予定）

本特集号では、社会における需要が急速に高まっている、持続可能な開発目標（SDGs: Sustainable Development Goals）をテーマとした「SDGs に貢献する教育システム」に関する論文を募集いたします。2015 年 9 月に国連で採択された SDGs では、地球上に山積する様々な課題の解決が国際目標として掲げられています。SDGs は、17 の目標と 169 のターゲットから構成され、その一つには、「包摂的かつ公正な質の高い教育を確保し、生涯学習の機会を促進する」ことが挙げられています。こうした状況において、「持続可能な開発を促進するために必要な知識・スキルの習得」のための学習環境の充実が求められています。SDGs の採択から 5 年が経過しようとしています。年限である 2030 年に向けて、近年における教育システム情報学領域における知見が共有されることによって、SDGs に貢献する教育システムの更なる発展が期待できます。

1. 対象分野

SDGs それ自体を対象とする教育システムに関する論文、ならびに、教育の質保証、健康・福祉教育、消費者教育、技術者教育、人権・ジェンダー教育、自然・環境・エネルギー教育、防災教育、平和教育、生涯学習など、持続可能な世界を実現するための 17 ゴール 169 ターゲットを対象とした教育システムに関する論文を広く募集いたします。

2. 論文種別

すべての種別（一般論文、実践論文、ショートノート、実践速報）の論文を募集いたします。なお、査読を通して、異なる種別での採録となる場合があります。

また、内容により一般号掲載論文へ変更する場合があります。

3. 投稿要領

教育システム情報学会学会誌原稿執筆要領に準じます。詳細は教育システム情報学会の Web ページで確認してください。Web 投稿の際には以下の点にご注意ください。

- 「投稿種別」で「特集号」を必ず選択してください。
- 特集論文研究会(2020 年 3 月中旬開催予定)で発表を行った方は、投稿情報入力の際に「事務局への連絡事項」の欄に、特集論文研究会での発表題目と発表番号を記載してください。

- 英文で投稿される場合は、本会英文誌へ投稿してください。英文誌においても同一特集名の特集号論文として取り扱い、和文誌と同様のスケジュールで査読を行います。＜英文誌ホームページ：http://www.jsise.org/journal/journal_en.html＞

4. スケジュール

論文投稿締切： 2020年6月初旬（予定）
採録通知予定： 2020年11月初旬頃（予定）
学会誌 掲載： 学会誌Vol. 38, No. 2, 2021年4月1日発行（予定）

本特集号と同一テーマの研究会「特集論文研究会」を開催します。是非、ご発表・ご参加ください。詳細は開催案内をご覧ください。

特集論文研究会： 2020年3月14日（土）
会 場： 未定
発表申込 締切： 2020年1月27日（月）（予定）
原稿提出 締切： 2020年2月13日（木）（予定）

5. 特集号編集委員会

委員長： 瀬田 和久（大阪府立大学）
副委員長： 村上正行（大阪大学）
幹 事： 松田憲幸（和歌山大学），後藤田中（香川大学），田中孝治（金沢工業大学）
幹事補佐： 近藤伸彦（首都大学東京），山元翔（近畿大学）
委 員： 学会誌編集委員，特集号編集委員

6. 問い合わせ

全 般： 田中 孝治（金沢工業大学）
E-mail: kjtanaka@neptune.kanazawa-it.ac.jp
Web投稿： 編集事務局
電話： 03-5389-6492
E-mail: jsise-edit@bunken.co.jp
〒169-0075 東京都新宿区高田馬場4-4-19 株式会社国際文献社 長澤氏



教育システム情報学会英文誌論文募集 (Vol. 19 11 月募集)

英文誌編集委員会

※J-STAGE をプラットフォームとしたオープンアクセスジャーナルです。

<https://www.jstage.jst.go.jp/browse/ejsise>

※J-STAGE を通して、Google Scholar, CiNii を初めとする国内外の主要な検索エンジンや学術情報サービスと連携しており、掲載された研究成果は国際的にも認知可能となります。

教育システム情報学会では、2002 年から毎年定期的に英文誌: The Journal of Information and Systems in Education を発行しています。2011 年からは、J-STAGE をプラットフォームとしたオープンアクセスジャーナルに移行し、国際的な発信力を強化しています。このたび、Vol. 19 に掲載する論文を募集いたします。教育システム情報に関連した領域全般を対象としておりますので、是非、この機会に多くの方々にご投稿いただき、革新的な研究成果、ユニークな実践等を世界に向けて積極的に発信していただきたいと思います。下記の要領に沿って、ご投稿いただきますよう、お願いいたします。

○論文種別：

一般論文(Regular Paper)、実践論文(Practical Paper)、
ショートノート(Short Note)、実践速報(Report on Practice)

○投稿締切：

2019 年 11 月 30 日

締切までに投稿いただいたものは、2020 年 6 月末までに採録の可否を決定・通知する予定です。採録された論文については校正等の手続きを経たうえで順次 Vol. 19(2020)に掲載させていただく予定です。
<http://www.jstage.jst.go.jp/browse/ejsise/>

※今回は、JSiSE 英文誌として最後の投稿募集です。この投稿募集の終了後、教育システム情報学会は日本教育工学会との合同英文誌を開始します。合同英文誌の詳しい情報は、後日ニューズレターや Web サイトでご案内します。

○投稿要件

- ・論文は他学会において査読中でないこと、そして、その主要部分が未発表であること。ただし、国際会議、学会の大会、研究会等で口頭発表した内容をまとめたものは投稿することができます。
- ・投稿者は本会会員である必要はありませんが、本会会員である場合には掲載料に会員の価格が適用されます。投稿者が 2 名以上の連名の場合は、そのうち少なくとも 1 名が会員であれば、掲載料に会員価格が適用されます。

○原稿執筆要領：

英文論文誌もしくは下記の URL を参照してください。

<http://www.jsise.org/journal/pdf/AuthorsInstruction.pdf>

○投稿方法

電子投稿システムを利用して投稿を行ってください。

- ・ 下記 URL より電子投稿用 Web ページにアクセスしてください。

https://bunken.org/jsise/journal_e/applicant/login.html

- ・ 初めて電子投稿システムを利用する場合は、まず利用者用 ID の発行手続きを行ってください。
- ・ 投稿論文は下記のテンプレートファイル (Word 文書) を用いて作成し、PDF ファイルに出力してアップロードしてください。

<http://www.jsise.org/journal/doc/JSiSE-EPaper-Template140415.doc>

※査読・判定結果の言語の希望 (英語または日本語) がありましたら、電子投稿システムの「Comments to the Editorial Office」欄に記入してください。なお、希望にそえない場合がありますので、予めご了承ください。

○編集委員会

委員長：鷹岡亮 (山口大学)，副委員長：国近秀信 (九州工業大学)，幹事：小島一晃 (帝京大学)，合田美子 (熊本大学)，委員：稲葉利江子 (津田塾大学)，入部百合絵 (愛知県立大学)，加島智子 (近畿大学)，小暮悟 (静岡大学)，林佑樹 (大阪府立大学)，平井佑樹 (信州大学)，松浦健二 (徳島大学)，宮澤芳光 (東京学芸大学)



研究会報告年間購読の申し込みについて

研究報告は、2016年度からは印刷媒体での研究報告は廃止し、オンライン上でタイムリーかつオンデマンドな閲覧が可能となるように、研究報告を電子化しています。保管などの手間もなく、大変便利に活用できるようになっております。

是非、研究会報告の「年間購読」のお申し込みをご検討いただければ幸いです。研究会当日も電子媒体として販売する予定ですが、年間購読がお得になっております。

- ・年間購読:4,000 円(定例研究会年 6 回, 特集研究会 1 回, 計 7 回分を含む)
- ・当日販売:1 冊 1,000 円

新規での「年間購読」申込みにつきましては、年会費をお支払いいただく前に会員種別変更申込をお願いします。以下の手順でお申し込みください。すでに年間購読をしていた方は手続き不要です。

- 1) 年会費納入手続きの前に、下記フォームにて事務局 (secretariat@jsise.org) まで年間購読申込をしてください。

=====

※研究報告年間購読希望
会員番号 (お分かりであれば) :
お名前 :
所属 :
連絡先 e メールアドレス :
=====

- 2) 手続き終了後、事務局より会員種別変更完了のご連絡を差し上げます。
- 3) マイページから年会費と合わせて年間購読費をお支払いください。

※年会費納入後に「年間購読」を申込みご希望の場合は、事務局 (secretariat@jsise.org) までご連絡ください。年間購読の請求書をお送りし、会員種別変更の手続きを進めさせていただきます。



教育システム情報学会研究会における 不適切な質問等への対応について

教育システム情報学会 研究会委員会

教育システム情報学会研究会は、教育システム情報学に関わる最新の研究や実践に関する情報交換および意見交換を通して、学会の発展、ひいては当該研究分野の発展において極めて重要な役割を果たしています。さらに、専門領域の近い研究者による緊密なネットワークが大学や研究機関を越えたところで構成されているため、若手研究者の発掘や育成、今後社会に出る学生の教育の場としても、研究会の重要性は非常に大きくなっています。

こうした研究会においては、様々な立場の参加者が自由闊達に議論できることが最も重要です。一方で、意見交換や育成・教育の範囲を大きく逸脱して、研究方法や研究分野、さらには発表スタイルなどを問題とする質問等を執拗に行い、発表者や聴講者に不快感や不利益を与えることは厳に慎まなければなりません。こうした問題が放置されると、研究会への参加だけでなく、学会活動全般、さらには教育システム情報学への関心の拡大に大きな悪影響を及ぼします。

教育システム情報学会研究会においては、意図の有無に関わらず、正当な根拠なく相手に不利益を与え、相手の尊厳を侵害する行為があった場合に、研究会担当委員および座長担当者が、質問の制止や質問者に退席の指示を行えるものとしています。研究会の参加者だけでなく、研究会に関連する全ての人々が快適で安心して研究会に寄与できる環境を維持し、研究分野のさらなる発展と、これを通じた社会貢献を行うために、研究会における皆様の建設的な質疑へのご協力をなにとぞよろしくお願いいたします。

関東支部より活動報告

リサーチ・コ・コ・コモンズ開催のお知らせ

教育システム情報学会 関東支部

昨年度に引き続き、関東支部主催にて連携（collaboration）による新たな学びの共創（co-creation）を実現するためのイベント「リサーチ・コ・コ・コモンズ」を開催いたします。今年度は学生の皆さまに自身の研究の魅力を再発見していただくための企画です。

学外の研究者・学生との議論を通じて、自分でも気付いていなかった研究の魅力を再発見してみませんか？

開催日時：11月9日（土）10:00～17:00

場所：早稲田大学早稲田キャンパス

対象：他大学の方々との交流を通じて自身の研究を見つめ直したい学生

※ 関東・東北地区以外の学生の方の参加も大歓迎です。

<プログラム>

第1部：ベテラン研究者からのメッセージ

講演題目：教育システム情報学研究の面白さ

講演者：レクロボ（Lectured by Akihiro Kashiara）

※ 電気通信大学柏原研究室で開発中のプレゼンテーションロボットが講演致します！

第2部：魅力 Aware / Share / Deeper セッション

研究紹介

自身の研究の魅力を参加者に伝えよう

伝え方は自由（PowerPoint・ポスター・口頭のみ）中間発表などで使ったものを流用してもOK！

参加者とのディスカッション

学外の研究者・学生との建設的な議論を通じて、自分でも気付いていなかった研究の魅力を再発見しよう

発表をご希望の方は、10/25(金)までに下記 URL よりご登録ください。

<http://bit.ly/cococo2019>



Twitter アカウントの紹介

2016 年 8 月下旬より，全国大会開催に合わせて学会の公式 Twitter アカウントを開設しました．本アカウントは原則として当学会の広報を目的とした配信専用としております．本学会へのご質問・お問い合わせは，学会事務局（secretariat@jsise.org）へお願いします．また，Facebook アカウントとの連携も行っており，Facebook ページの投稿が Twitter にも流れますので，ぜひご活用（フォロー）ください．

<https://twitter.com/JsisePr>

☆ 2019 年 9 月 24 日現在，フォロワー数 221 アカウント



Facebook ページもご覧ください

教育システム情報学会では Facebook ページを運用しています．本ページでは，

- ・ 論文・発表募集
- ・ 本学会に関連するイベントの情報

などを，いち早くお届けします．ぜひ，ご覧下さい．

Facebook ユーザの方は，ぜひ，「いいね」をお願いいたします．

<https://www.facebook.com/jsise.org/>

☆ 2019 年 9 月 24 日現在，いいね 370 件，399 人フォロー





他団体 協賛・後援イベントのお知らせ

- 2019 年 11 月開催
 - 協賛「第 30 回教育・学習支援システム若手の会」
日時：2019 年 11 月 2 日(土) ～ 4 日(月)
会場：那須オオシマフォーラム
URL：[https://sites.google.com/view/yelsswakate/開催イベント all/tochitochi2019](https://sites.google.com/view/yelsswakate/開催イベント/all/tochitochi2019)
- 2019 年 12 月開催
 - 協賛「JMeL 14th：医療系 e ラーニング全国交流会」
日時：2019 年 12 月 21 日(土) ～ 22 日(日)
会場：広島市, 広島大学広仁会館
URL：<https://jmel.jp/>
テーマ：ICT 活用教育の高度化と牽引
演題登録：2019 年 9 月 30 日(月)
抄録提出：2019 年 10 月 21 日(月)
事前申し込み：11 月 20 日(水)



国際会議のご案内

- 2019 年 12 月開催
 - ICCE 2019: The IEEE International Conference on Teaching, Assessment, and Learning for Engineering 2019
開催期間 : December 2 - December 6, 2019
開催地 : Kenting, Taiwan
URL: <http://ilt.nutn.edu.tw/icce2019/>
テーマ: Intelligent Computing and Convergent Education



会費納入のお願い

2019 年度会費未納の方には、8 月 30 日に会費納入のお願いをメールでお送りいたしましたので、納入をお願いします。過年度年会費未納の方はそちらも合わせてお願いします。学会の活動は皆様の会費で支えられていますので、ご協力のほどどうぞよろしくお願いします。

「クレジット決済」、「コンビニ決済」をご希望の方は、下記のマイページよりお手続きをお願いいたします。

URL <https://bunken.org/jsise/mypage/Login>

※会員専用ページの URL は、会員情報管理システムの業務委託をしている株式会社国際文献社のものです。

- 「銀行振込」をご希望の方は、下記のいずれかの口座へお振込みをお願いいたします。

■振込先

◆ゆうちょ銀行

口座記号番号： 00180-6-709632

加入者名： 一般社団法人教育システム情報学会

フリガナ： シャ) キョウイクシステムジョウホウガッカイ

※他金融機関からゆうちょ銀行に振込む場合

銀行名： ゆうちょ銀行（金融機関コード：9900）

店名： ○一九 店（ゼロイチキユウ店） 預金種別：当座 口座番号：0709632

名義： 一般社団法人教育システム情報学会

フリガナ： シャ) キョウイクシステムジョウホウガッカイ

◆三菱 UFJ 銀行（金融機関コード：0005）

店名： 上新庄支店（カミシンジョウ支店）

預金種別：普通 口座番号：0142708

名義： 一般社団法人教育システム情報学会

フリガナ： シャ) キョウイクシステムジョウホウガッカイ

◆みずほ銀行（金融機関コード：0001）

店名： 茨木 支店（イバラキ支店）

預金種別：普通 口座番号：1399483

名義： 一般社団法人教育システム情報学会

フリガナ： シャ) キョウイクシステムジョウホウガッカイ

- 請求書・領収書（支払い後）は、マイページでオンライン発行できます。
- 請求書・領収書の郵送をご希望の方は、事務局（secretariat@jsise.org）までご連絡ください。

※団体名でお振込みいただきますと、個人を特定できない場合がございますので、振込名に会員番号またはお名前をご入力いただくか、難しい場合は、振込内容を事務局までご連絡いただければ幸いです。

※所属が変わった方は、マイページにログインした際に、連絡先などを変更するようお願いいたします。

【過年度年会費を支払われていない方へ】

マイページでは、全ての年度の未納金額を合算した金額が請求されます。先に本年度以前の分のお支払いを希望される方は、先に郵送された払込用紙付請求書をご利用になるか、学会事務局（secretariat@jsise.org）までご連絡下さい。

※会費のお支払いが確認できない場合、学会からの送付物を停止させていただく場合があります。また、会員資格停止の手続きを進めさせていただく場合があります。

ご不明な点は、事務局（secretariat@jsise.org）までお問合せ下さい。

〒162-0801 東京都新宿区山吹町 358-5 アカデミーセンター
Tel:03-6824-9376 Fax:03-5227-8631 Email : secretariat@jsise.org



事務局より



会員専用ページのご案内

URL : <https://bunken.org/jsise/mypage/Login>

※会員専用ページの URL は、会員情報管理システムの業務委託をしております株式会社国際文献社のものです。

■会員専用ページでは、以下のことができます。

1. 会員個人ページでの、現在の登録情報の確認・変更
2. 年会費納入状況の確認
3. 会費の納入、クレジット/コンビニ決済
4. パスワードの変更

会員種別、フリガナ、研究報告年間購読の登録等はマイページでは変更できませんので、お手数ですが JSiSE 事務局会員窓口 (secretariat@jsise.org) までご連絡をお願い致します。

ログインには、ID とパスワードが必要です。

パスワードをお忘れになった場合は、上記ウェブサイトにて照会できます。何かご不明な点がございましたら、JSiSE 事務局会員窓口 (secretariat@jsise.org) までご連絡ください。

今後とも教育システム情報学会の活動にご理解ご協力のほど、何卒よろしくお願い申し上げます。



入会のご案内

入会をご希望の方は、下記のサイトよりオンライン入会申込フォームにアクセスしていただき、お申し込みをお願いいたします。

URL : <http://www.jsise.org/admission/index.html>

☆キャンペーン☆

※現在、本学会開催の研究会等で、会場にて新規お申し込みいただいた方には、**入会金を無料**にさせて頂くというキャンペーンを行っております。
そちらも、合わせてご案内いただきますようお願いいたします。



新入会員のご紹介

下記の皆様が新しく入会されました。（2019 年 7 月 25 日～2019 年 9 月 19 日）

会員名	会員種別	会員名	会員種別
宮下 伊吉	正会員	平 直幹	学生会員
丹下 承子	学生会員	岩間 裕司	学生会員
枝窪 悠	正会員	酒川 拓也	学生会員
和田 拓也	学生会員	畠中 啓輔	学生会員
並木 浩一	正会員		

（計 9 名）